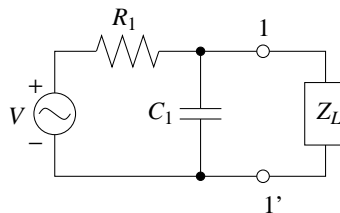


## 電気回路演習 II 第 8 回 (平成 19 年 12 月 6 日 (木))

### 演習

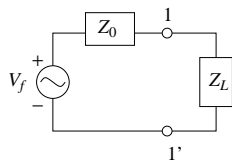
図に示す回路に対して以下の問に答よ．ここで， $R_1 = 20 \Omega$ ， $C_1 = \frac{1}{1000\pi} \text{ F}$ ， $V = 100 \text{ V}$ ， $f = 50 \text{ Hz}$  とする．

1. 端子 1-1' より左側をテブナン等価回路で表した回路を書き，内部インピーダンス  $Z_0$ ，開放電圧  $V_f$  を求めよ．
2. 負荷インピーダンスが  $Z_L = x(2 + j) [\Omega]$  のように与えられる場合を考える．ただし， $x$  は正の実数とする．
  - (a) 負荷に流れる電流  $I_L(x)$ ，負荷にかかる電圧  $V_L(x)$ ，負荷での実消費電力  $P(x)$  を  $x$  の関数として求めよ．ただし， $I_L(x)$  と  $V_L(x)$  に関しては分母を実数化しなくても良い．
  - (b)  $x$  を変化させ実消費電力を最大にしたい． $f(x) = 1/P(x)$  として， $f(x)$  を  $x$  で微分し， $f(x)$  の最小値を求めることで， $x$  の最適値  $x_{opt}$  を求め，そのときの実消費電力  $P_{max}$  を求めよ．
3. 負荷インピーダンスが  $Z_L = R_L + jX_L [\Omega]$  のように与えられる場合を考える．ここで  $R_L$ ， $X_L$  は実数である．
  - (a) 最大電力伝送定理より，負荷  $Z_L$  での実消費電力を最大にする  $R_L$ ， $X_L$  の値  $R_{L,opt}$ ， $X_{L,opt}$  を求めよ．
  - (b) 3(a) の回路を抵抗  $R$ ，コイル  $L$ ，コンデンサ  $C$  を使って表せ．ただし，用いる素子数はなるべく少なくすること．
  - (c) 実消費電力の最大値  $P_{max}$  を求めよ．



### 解答

1. 端子 1-1' より左をテブナン等価回路で表すと．



$$Z_0 = R_0 + jX_0 = \frac{R_1}{1 + \frac{1}{j\omega C_1 R_1}} = \frac{R_1}{1 + j\omega C_1 R_1} = \frac{20}{1 + j2} = \frac{20(1 - j2)}{1^2 + 2^2} = 4(1 - j2) \Omega \quad \boxed{10}$$

$$V_f = \frac{\frac{1}{j\omega C_1}}{R_1 + \frac{1}{j\omega C_1}} V = \frac{V}{1 + j\omega C_1 R_1} = \frac{100}{1 + j2} = 20(1 - j2) \text{ V} \quad \boxed{10}$$

2. (a)

$$I_L(x) = \frac{V_f}{Z_L + Z_0} = \frac{20(1 - j2)}{(2x + 4) + j(x - 8)} \text{ A} \quad \boxed{10}$$

$$V_L(x) = \frac{Z_L V_f}{Z_L + Z_0} = \frac{x(2 + j) \cdot 20(1 - j2)}{(2x + 4) + j(x - 8)} = \frac{20x(2 + j)(1 - j2)}{(2x + 4) + j(x - 8)} \text{ V} \quad \boxed{10}$$

$$P(x) = \text{Re}\{V_L(x)^* I_L(x)\} = \text{Re}\left\{\frac{20^2 \cdot x(2 + j) \cdot 5}{(2x + 4)^2 + (x - 8)^2}\right\} = \frac{4000x}{5x^2 + 80} = \frac{800x}{x^2 + 16} \text{ W} \quad \boxed{10}$$

(b) 消費電力の逆数を  $f(x)$  と置くと

$$f(x) = \frac{1}{P(x)} = \frac{1}{800} \left( x + \frac{16}{x} \right)$$

これを  $x$  で微分して 0 となる  $x$  で  $f(x)$  は極値を取る

$$\frac{df(x)}{dx} = \frac{1}{800} \left( 1 - \frac{16}{x^2} \right) = 0 \quad \rightarrow \quad x = 4 \quad (x \text{ は正の実数})$$

$df(x)/dx$  は  $0 < x < 4$  で負であり,  $x > 4$  で正であるので,  $x = 4$  で極小かつ最小になる. したがって, 消費電力を最大にする  $x$  の値は

$$x_{opt} = 4 \quad \boxed{10}$$

である. またこのときの消費電力は

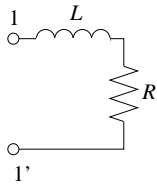
$$P(x=4) = \frac{800 \cdot 4}{4^2 + 16} = 100 \text{ W} \quad \boxed{10}$$

である.

3. (a) 最大電力伝送定理より共役整合条件を考えると

$$Z_{L,opt} = Z_0^* = 4 + j8 \Omega \quad \rightarrow \quad R_{L,opt} = 4 \Omega, \quad X_{L,opt} = 8 \Omega \quad \boxed{10}$$

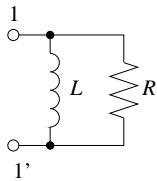
(b)  $R$  と  $L$  の直列接続で考えると以下のような回路を得る



$$Z_L = R + j\omega L = Z_0^*$$

$$R + j100\pi \cdot L = 4 + j8 \quad \rightarrow \quad R = 4 \Omega, \quad L = \frac{2}{25\pi} \text{ H} \quad \boxed{10}$$

$R$  と  $L$  の並列接続で考えると以下のような回路を得る



$$Y_L = \frac{1}{R} + \frac{1}{j\omega L} = Y_0^*$$

$$\frac{1}{R} + \frac{1}{j\omega L} = \frac{1}{4 + j8} = \frac{1 - j2}{20} \quad \rightarrow \quad R = 20 \Omega, \quad L = \frac{1}{10\pi} \text{ H}$$

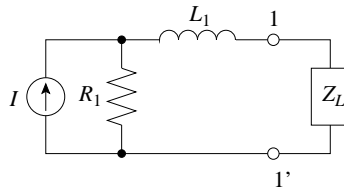
(c) 最大となる消費電力は

$$P_{\max} = \frac{|V_f|^2}{4R_0} = \frac{20^2(1^2 + 2^2)}{4 \cdot 4} = 125 \text{ W} \quad \boxed{10}$$

小テスト

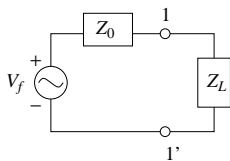
図に示す回路に対して以下の問に答よ．ここで， $R_1 = 3 \Omega$ ， $L_1 = \frac{1}{25\pi} \text{ H}$ ， $I = 2 \text{ A}$ ， $f = 50 \text{ Hz}$  とする．

- 端子 1-1' より左側をテブナン等価回路で表した回路を書き，内部インピーダンス  $Z_0$ ，開放電圧  $V_f$  を求めよ．
- 負荷インピーダンスが  $Z_L = R_L [\Omega]$  のように実数で与えられる場合を考える．
  - 負荷に流れる電流  $I_L(R_L)$ ，負荷にかかる電圧  $V_L(R_L)$ ，負荷での実消費電力  $P(R_L)$  を  $R_L$  の関数として求めよ．ただし， $I_L(R_L)$  と  $V_L(R_L)$  に関しては分母を実数化しなくても良い．
  - $R_L$  を変化させ実消費電力を最大にしたい． $f(R_L) = 1/P(R_L)$  として， $f(R_L)$  を  $R_L$  で微分し， $f(R_L)$  の最小値を求めることで， $R_L$  の最適値  $R_{L,opt}$  を求め，そのときの実消費電力  $P_{max}$  を求めよ．
- 負荷インピーダンスが  $Z_L = R_L + jX_L [\Omega]$  のように与えられる場合を考える．ここで  $R_L$ ， $X_L$  は実数である．
  - 最大電力伝送定理より，負荷  $Z_L$  での実消費電力を最大にする  $R_L$ ， $X_L$  の値  $R_{L,opt}$ ， $X_{L,opt}$  を求めよ．
  - 3(a) の回路を抵抗  $R$ ，コイル  $L$ ，コンデンサ  $C$  を使って表せ．ただし，用いる素子数はなるべく少なくすること．
  - 実消費電力の最大値  $P_{max}$  を求めよ．



解答

- 端子 1-1' より左をテブナン等価回路で表すと．



$$Z_0 = R_0 + jX_0 = R_1 + j\omega L_1 = 3 + j4 \Omega \quad \boxed{10}$$

$$V_f = R_1 I = 6 \text{ V} \quad \boxed{10}$$

- 負荷が  $R_L$  であるとき

$$I_L(R_L) = \frac{V_f}{R_L + Z_0} = \frac{6}{R_L + 3 + j4} \text{ A} \quad \boxed{10}$$

$$V_L(R_L) = \frac{R_L V_f}{R_L + Z_0} = \frac{6R_L}{R_L + 3 + j4} \text{ V} \quad \boxed{10}$$

$$P(R_L) = \text{Re}\{V_L(R_L) \cdot I_L(R_L)\} = \text{Re}\left\{\frac{6R_L}{R_L + 3 - j4} \cdot \frac{6}{R_L + 3 + j4}\right\} = \frac{36R_L}{(R_L + 3)^2 + 16} \text{ W} \quad \boxed{10}$$

- 消費電力の逆数を  $f(R_L)$  と置くと

$$f(R_L) = \frac{1}{P(R_L)} = \frac{(R_L + 3)^2 + 16}{36R_L} = \frac{1}{36} \left( R_L + 6 + \frac{25}{R_L} \right)$$

これを  $R_L$  で微分して 0 となる  $R_L$  で  $f(R_L)$  は極値を取る

$$\frac{df(R_L)}{dR_L} = \frac{1}{36} \left( 1 - \frac{25}{R_L^2} \right) = 0 \quad \rightarrow \quad R_L = 5 \quad (\text{抵抗の値は正})$$

$df(R_L)/dR_L$  は  $0 < R_L < 5$  で負であり,  $R_L > 5$  で正であるので,  $R_L = 5$  で極小かつ最小になる. したがって, 消費電力を最大にする  $R_L$  の値は

$$R_{L,opt} = 5 \, \Omega \quad \boxed{10}$$

である. またこのときの消費電力は

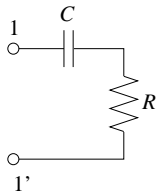
$$P(R_L = 5) = \frac{36 \cdot 5}{(5 + 3)^2 + 16} = \frac{9}{4} \, \text{W} \quad \boxed{10}$$

である.

3. (a) 最大電力伝送定理より共役整合条件を考えると

$$Z_{L,opt} = Z_0^* = 3 - j4 \, \Omega \quad \rightarrow \quad R_{L,opt} = 3 \, \Omega, \quad X_{L,opt} = -4 \, \Omega \quad \boxed{10}$$

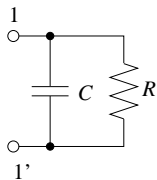
(b)  $R$  と  $C$  の直列接続で考えると以下のような回路を得る



$$Z_L = R + \frac{1}{j\omega C} = Z_0^*$$

$$R - j \frac{1}{100\pi \cdot C} = 3 - j4 \quad \rightarrow \quad R = 3 \, \Omega, \quad C = \frac{1}{400\pi} \, \text{F} \quad \boxed{10}$$

$R$  と  $C$  の並列接続で考えると以下のような回路を得る



$$Y_L = \frac{1}{R} + j\omega C = Y_0^*$$

$$\frac{1}{R} + j100\pi \cdot C = \frac{1}{3 - j4} = \frac{3 + j4}{25} \quad \rightarrow \quad R = \frac{25}{3} \, \Omega, \quad C = \frac{1}{625\pi} \, \text{F}$$

(c) 最大となる実消費電力は

$$P_{\max} = \frac{|V_f|^2}{4R_0} = \frac{36}{12} = 3 \, \text{W} \quad \boxed{10}$$